

「問題な日本語」の誤用分析

——大正大学学部生の実態調査——

中 島 紀 子

1. はじめに

最近、近所のコンビニで買い物をした際、レジで日本人の名札を付けた若い女子店員から私の購入したお弁当に対し「温めなさいますか」とさわやかな笑顔で聞かれた。また、有名百貨店で菓子折りを求めた時には40代くらいとみられる男性店員から「お包みなさいますか」とにこやかに確認の言葉がかけられた。「そのまま結構です」と答えながら、「お弁当、温めますか」の誤用がさらに進化を遂げていることに興味を持った。

本論題の「問題“な”日本語」とは、北原保雄編『問題な日本語』（2004）の書名に使われた、文法的には誤った表現である。後に続く名詞「日本語」を修飾する、実態を表す名詞「問題」は、現代日本語の文法から言えば、助詞「の」が使用され「問題の日本語」となるべきところ、形容動詞であるかのように「な」が意図的に使用されたものである。前出の「お弁当、温めますか」は『問題な日本語その④』（2011）でも取り上げられており、コンビニにおける「温める」行為者は質問者である店員であるはずが、日本語文法からいうと「(あなたは) お弁当を温めますか」と客が近い将来「温める」意思があるかどうかを尋ねる文になってしまっている。

「誤用」「言葉のゆれ」などの表現は、一過性でいつの間にか消えていくものと、社会に許容され定着していくものとに分かれている。本稿では、特に何年ものあいだ成り行きが見守られている敬語に関わる誤用表現に関して、特定非営利活動法人日本語検定委員会主催の「日本語検定」と文化庁が行っている「国語に関する世論調査」の質問内容を流用し、大正大学の学部生に

対しアンケート調査を行うことで、本学学部生の誤用使用の現状把握を試みる。また、その結果から、学部生の誤用使用の傾向ならびに特徴を明らかにし、誤用を防ぐ方法を提案する。

2. 「日本語検定」誤答選択肢からみる 「問題な日本語」の傾向

一般に、試験における選択問題では、選択肢の中に受験者が間違えそうな選択肢が入っているという考えのもとに、拙稿（2015）において、選択肢のうち正答以外の選択肢に着目し、誤用の傾向調査を試みた。試験問題を分析するにあたり、日本語に関する検定の中から、過去の試験問題を公表しており、受験者が限られておらず誰でも受験が可能で、受験者にとって適切な受験級のおおよその目安もわかる「日本語検定」の問題を取り上げた。「日本語検定」は、「敬語の指針」が出された同じ年の平成19年6月16日に第1回目の検定試験が行われ、それ以降、6月と10月又は11月の毎年2度実施され現在も続いていることから、今回も実態を調査するにあたり、日本語検定委員会が出している「日本語検定」ミニテストの問題を使用した。前回は、平成19年度から25年度までに出题された検定問題を分析したため、まず、その後の平成26年度から28年度までの3年間で3級の選択問題の誤答選択肢の傾向に変化がないか確認を行い、本調査を始めることとする。

3年前の調査において、敬語またその周辺にある誤用例は、大きく4つに分けられた。まず、敬語表現の誤用が挙げられるが、特に、「尊敬語と謙讓語Ⅰの混同・混用」と「過剰敬語」が頻繁に出题されていた。次に、可能表現の誤用で「ら抜き言葉」と「れ不足言葉」が多かった。さらに、使役表現の誤用「さ入れ言葉」も目立った。最後に「～的、とか、～のほう、させていただく、お名前を頂戴する、よろしかったですか」など特定の表現の誤用がみられた。これら4項目のうち、本稿では、敬語表現、可能表現、使役表現の誤用に絞って過去3年間の選択肢を調べ、誤用の傾向をみていく。

2.1 敬語表現の誤用

平成19年2月2日に出された「敬語の指針」において、敬語は以下のとおり5つの型に分類されている。

初めに、尊敬語「いらっしゃる・おっしゃる」型は、相手側又は第三者の行為・ものごと・状態などについて、その人物を立てて述べるもので（「立てる」という用語は、「言葉の上で人物を高く位置づけて述べる」という意味で用いる、とされている）、「行く→いらっしゃる」のように特定の語形（特定形）による場合と、「お（ご）……になる」（例、読む→お読みになる、利用する→御利用になる）のように広くいろいろな語に適用できる一般的な語形（一般形）を使う場合とがある。

2つの謙讓語のうち、謙讓語Ⅰ「伺う・申し上げる」型は、自分側から相手側又は第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べるもの。「訪ねる→伺う」のように特定の語形（特定形）による場合と、「お（ご）……する」（例：届ける→お届けする、案内する→御案内する）のように広くいろいろな語に適用できる一般的な語形（一般形）を使う場合とがある。その特定形には、伺う（←訪ねる・尋ねる・聞く）／申し上げる（←言う）／存じ上げる（←知る）／差し上げる（←上げる）／頂く（←もらう）／お目に掛かる（←会う）／お目に掛ける、御覧に入れる（←見せる）／拝見する（←見る）／拝借する（←借りる）などがある。

もうひとつの謙讓語である謙讓語Ⅱ（丁重語）「参る・申す」型は、自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁重に述べるもので、「参る」などの幾つかの特定の語形のほかには、一般的な語形としては、「……いたす」があるだけである。特定形には、参る（←行く・来る）／申す（←言う）／いたす（←する）／おる（←いる）／存じる（←知る・思う）がある。

残りは、話や文章の相手に対して丁重に述べる丁寧語「です・ます」型と、ものごとを美化して述べる美化語「お酒・お料理」型に分かれている。

この分類をふまえた上で、「日本語検定」における誤答選択肢から、「問題な日本語」を取り上げ分析していく。

2.1.1 尊敬語と謙讓語の混同・混用

(1) 謙讓語 I・II を使用すべきところ尊敬語を使った誤用

01【新入社員が配属先で挨拶をして】

早く、皆様のお役に立てるよう、精一杯（ ）ので、どうぞよろしくお願ひいたします。

[1 お努めされます 2 努めて差し上げます 3 努めて参ります]

H26 (2) 問 1 四

02【学部の学生が、先輩の大学院生に卒業論文の指導を頼んで】

それでは、明日の午後に日本語学科の研究準備室に（ ）。よろしくお願ひいたします。

[1 伺います 2 お伺いされます 3 お伺いになります]

H27 (1) 問 1 一

03【旅行先のホテルにジャケットを忘れ、電話でフロント係とやりとり】

フロントで（ ）か、あるいは宅急便でご指定のところにお送りすることもできますが。

[1 お預かりしておく 2 お預かりになっておく 3 お預かりされておく]

27 (1) 問 4 エ

04【大学生の山中さんが、村田教授の研究室を訪問したときのやりとり】

村田先生、私は法学部三年の山中と（ ）。

[1 言います 2 おっしゃいます 3 申します]

H28 (1) 問 4 ア

01 の 1 は新入社員が自らの行為に（尊敬語として適切な形ではないが）尊敬表現「お～される」を使用していて不適切である。02 の 3 も、03 の 2 も、それぞれ、学生が自分の行く行為、フロント係が自分の預かる行為に、尊敬表現「お～になる」を使用している誤りである。04 の 2 では、学生が名前を名乗るのに尊敬語「おっしゃる」をつけている誤りである。

四

(2) 尊敬語を使用すべきところ謙讓語 I を使った誤用

05【眼鏡店の店員と客とのやりとり】

まず視力をお測りしますので、こちらに（ ）ください。

[1 お掛け 2 お掛けになられて 3 お掛けされて]

H26 (1) 問 4 カ

06【大学生が自分が志望する会社に就職した大学の先輩に電話連絡した時のやりとり】

会社に着いたら、一階受付で私を（ ）ください。

[1 呼び出して 2 お呼び出しして 3 お呼び出しされて]

H27 (2) 問 4 カ

07【大学生の山中さんが、村田教授の研究室を訪問したときのやりとり：教授に尋ねる】

古い本なのでどこで手に入れられるか、入手方法を（ ）か。

[1 知りませんでしょう 2 存じ上げていませんでしょう 3 ご存じないでしょう]

H28 (1) 問 4 エ

05 の 3 は客の行為に謙讓語 I の一般形「お～する」が、06 の 2 も相手の行為に対して謙讓語 I の一般形「お～する」が使われており不適切である。07 の 2 は教授が知っているか尋ねるのに謙讓語 I の特定形「存じ上げる」を使用している誤用である。

(3) 尊敬語を使用すべきところ謙讓語 II を使った誤用

08【大学生の工学部の学生が、大学院生に】

先程（ ）実験の手順について、いくつかお尋ねしたいのですが…。

[1 ご指示いただいた 2 ご指示いたされた 3 ご指示して下さった]

H26 (2) 問 1 三

09【大学のサークルのOBを新入生歓迎会に誘って】

来月の新入生歓迎会に先輩も（ ）。

[1 いらっしゃられませんか 2 参加いたしませんか 3 おいでになりませんか]

H27 (2) 問 1 四

10【コンビニエンスストアに荷物の発送を依頼しに来た客に、店員が】

荷物のお届け希望時間は何時から何時に（ ）。

[1 いただきますか 2 しますか 3 なさいますか] H28 (1) 問 1 四
08 の 2 では、先輩の行為に謙譲語Ⅱ「ご～いたす」を使用し、08 の 3
では謙譲語Ⅰの一般形「ご～する」を用いているので、いずれも誤用である。
09 の 2 でも、OB に対して謙譲語Ⅱの一般形「～いたす」を用いている。
10 の 1 では、客に対して謙譲語Ⅱの特定形「いたす」に尊敬の助動詞「れる」
をつけた形を使った誤りである。

11 【新製品の発表会で】

我が社では、スマートフォンの軽量化に向けて全社一丸となって（ ）。

[1 取り組んで参りました 2 お取り組みして参りました 3 お取り組みに
なってきました]

H27 (1) 問 1 二

12 【自社の応接室に案内した来客に】

部長の斎藤はまもなく（ ）。

[1 いらっしゃいます 2 参ります 3 参らせていただきます]

H27 (2) 問 1 二

13 【電車の事故で採用面接に遅れる状況で、電話応対してくれた会社社員
との会話】

私は同じ部署の者です。よろしければ、ご用件を（ ）が。

[1 承ります 2 賜ります 3 聞きます]

H28 (2) 問 4 エ

11 から 13 のように、過去の出題には見られなかった新しい誤用例も出
てきている。11 の 2 における「取り組み」は自社の行為であり、謙譲語Ⅰ
の特徴である〈向かう先〉のある動詞ではない。この設問は、謙譲語Ⅰと謙
譲Ⅱの違いを問うものである。12 の 3 では、謙譲語Ⅱ「参る」に許可を得
る「ていただく」をつけ、来客に許可をとる必要がない場面で「ていただく」
を使用している。13 の 2 は、一見すると、正答である「聞く」の謙譲語「承
る」と語感が似ている、「もらう」の謙譲語「賜る」を選択肢に入れている。
このような誤答が今後も選択肢が増えていくか注意が必要である。

以上みてきたように、尊敬語と謙譲語の混同・混用は過去 3 年の多くの

選択肢に誤用として入っている。拙稿（2015）でも取り上げたが、中でも、尊敬表現を使用すべき場面で、謙讓語Ⅰの一般形「お／ご～する」に尊敬の助動詞「れる」を接続させる誤用が多いのは、尊敬語の一般形「お／ご～になる」と謙讓語Ⅰの一般形「お／ご～する」が語形として類似しており、言葉の経済性の観点から、ひとつの言い方に集約してしまおうとする無意識の力が働き、尊敬語を使うべき場面においても、謙讓表現の「お／ご～する」を使用する誤用が多いと考えられる。

2.1.2 過剰な尊敬表現

尊敬表現「お／ご～になる」に尊敬の助動詞「れる・られる」をつける形が選択肢にでてくる。また、尊敬語の特定形「ご覧になる／いらっしゃる／なさる」等はそれ自体が尊敬語であり、「ご覧になられる／いらっしゃる／なさられる」は尊敬語にさらに尊敬を表す助動詞「れる・られる」が付け加えられた過剰敬語である。以下のような過剰な尊敬表現は、選択肢の中に11回見られた。特に、14の3、15の2の例のように、尊敬語を使用すべきところに、謙讓語を用いる誤用が増えているようだ。

14【先生を囲んでの会食がお開きになる前に、学生が先生にたずねて】

先生、お茶をもう一杯（ ）ますか。

[1 召し上がり 2 お召し上がりになられ 3 お飲みし]

H26 (1) 問1 二

15【高校2年生と職業体験先の書店の人との会話:電話を取り次ぐ書店の人】
少々（ ）。

[1 お待ちください 2 お待ちしてください 3 お待ちになられてください]

H26 (2) 問4 イ

16【大学生の先輩に電話で】

先輩はこの夏休み、いかが（ ）。

[1 過ごされになりましたか 2 お過ごしになりましたか 3 お過ごしになられましたか]

H28 (2) 問1 四

取りあげられている数は少ないが、過去にも17の②のように、謙讓語Ⅰ

の一般形「お借りする」に尊敬語の一般形「お～になる」をつけたもの、また、17の④のように謙讓語Ⅰの特定形「拝借する」にさらに謙讓語Ⅰの一般形「ご～する」をつけて出題されたことがある。今回は18の一例のみだったが、18の3にみられる、謙讓語Ⅰの一般形「お～する」に謙讓語Ⅰの特定形「申し上げる」がついた誤用も出題されている。

17 この郷土史に関する本を借りたいのですが。

[①借りさせていただきたい ②お借りになりたい ③拝借したい ④ご拝借したい]

H19 (2) 問3二

18【就職が決まった大学生が、近所に住む叔父に電話で】

叔父さん、今度の日曜日にお宅に（ ）のですが。

[1 行きたい 2 お邪魔したい 3 お伺い申し上げたい]

H28 (1) 問1五

2.2 可能表現の誤用

2.2.1 「ら抜き言葉」

3年間に13の設問があり、それぞれ「決める」「つける」「入れる」「綴じる」「食べる」「差し上げる」「引き換える」「着る」「起きる」「しゃべる」「手に入れる」「食べ切る」「眠る」の動詞についての質問であった。これまで、「見られる」「起きられる」など可能を表す場合と尊敬を表す場合に同形になる動詞において、可能を表す場合に「ら」が抜け、「見れる」「起きれる」となるものに関する問いがほとんどであった。しかし、以下の例のように、複合動詞や表現を問うもの、また「ら」を足す選択肢までもが出題されている。これは、「ら抜き言葉」の使用がさらに進んでいることを示すものと考えられる。

19 先輩の誕生日祝いにクッキーを焼いたけれど、この出来ではとても(1 差し上げれない 2 差し上げられない)。

H27 (1) 問3二

20 当社のポイント制度では、たまったポイントの数に応じて、商品券と(1 引き換えられ 2 引き換えれ)ます。

H27 (1) 問 3 四

21【大学生山中さんと村田教授とのやりとり】

古い本なのでどこで手に(1 入れれる 2 入れられる 3 入れられる)か、
入手方法をご存じないでしょうか。

H28 (1) 問 4 ウ

22 今日の日曜日の弁当は、量が多すぎて(1 食べ切れなかった 2 食べ切れなかった)。

H28 (2) 問 3 三

23 翌日の体育祭のことが気になって、昨夜はなかなか(1 眠られ 2 眠れ)なかった。

H28 (2) 問 3 四

2. 2. 2 「れ足す」言葉

「れ足す」言葉に関しては、以下の5例のみで、「ら抜き言葉」や「さ入れ言葉」に比べると少ないが、21の3は、可能を表す正しい形「入れられる」に「れ」を入れた誤用である。正答「入れられる」のら抜き言葉「入れれる」にさらに可能を表す「られ」がついた誤用例であるとも考えられ、二重、三重に誤用が発生していると推測される。

21【大学生山中さんと村田教授とのやりとり】

古い本なのでどこで手に(1 入れれる 2 入れられる 3 入れられる)か、
入手方法をご存じないでしょうか。

H28 (1) 問 4 ウ

24 青山先輩のようにフルートがうまく(1 吹ければ 2 吹ければ)、
音楽の道で生きていくのも夢ではない。

H26 (2) 問 3 五

25 美術部の上島先輩くらい絵がうまく(1 かければ 2 かけられれば)、
画家になるのも夢ではない。

H27 (1) 問 3 五

26【ホテルのフロント係と大学生山中さんの電話でのやりとり】

すみませんが、実はもう新幹線に乗ってしまったので、送って(1 いただ

けますか 2 いただけれますか 3 いただけられますか)

H27 (1) 問 4 オ

27 弟は息継ぎがうまくできないので、十メートルぐらいしか (1 泳げ
2 泳げれ) ない。

H28 (2) 問 3 二

2.3 使役表現の誤用

「さ入れ」言葉に関しては 11 の設問があり、「学ぶ」「行う」「いる (居る)」「知る」「歩く」「忘れる」「気づく」「取り組む」「降る」「休む」「出場する」の動詞に関して問われている。これまで、強制的あるいは自発的に何らかの行為が生じる場合、もしくは、許可・容認を表す使役表現の誤用として「さ」を入れてしまう例が出題されてきたが、以下のような新しい「さ入れ」の誤答が選択肢に入っている。

28 最近の若者は、彼らの郷土の歴史について (1 知らなすぎる 2 知らなさすぎる) という意見がある。

H26 (2) 問 3 三

29 学習内容をきちんとノートに整理すれば、ただ参考書を読むよりも内容を (1 忘れなそう 2 忘れなさそう) だ。

H27 (1) 問 3 一

30 こんなに目立たない立て看板では、シンポジウムの来場者に (1 気づいてもらえなそう 2 気づいてもらえなさそう) だ。

H27 (2) 問 3 三

31 朝の空模様を見る限り、きょうは雨が (1 降らなそう 2 降らなさそう) だ。

H28 (1) 問 3 三

32 幼いころ、ものまねが得意な父に、姉と私はよく (1 笑わせられ 2 笑わさせられ) たものでした。

H28 (1) 問 3 五

28 は動詞の否定形に「すぎる」をつけるので、語幹の「な」に「すぎる」を続ければよいのが、必要のない「さ」が入ってしまっている例である。形

容詞の場合は楽しくなさすぎるなど「さ」が入るが、動詞の否定形に「さ」は入らない。また、29から31では、「忘れない、気づいてもらえない、降らない」のように動詞の否定形に様態を表す「そう」をつけるため、語幹の「な」に「そう」をつければよいところ、余計な「さ」を入れてしまっている。さらに、32のような使役受け身における「さ入れ」の選択肢も入っていることから、「さ入れ」言葉の使用も広がっていると推測できる。

以上みてきたように、過去3年間で新しい誤用例も取り上げられ、誤用使用の広がりも示唆されているが、敬語表現、可能表現、使役表現の誤用に関しては選択肢の中に依然として多数みられることから、これらの誤用使用状況に大きな変化はないと判断できる。

3. 「日本語検定」ミニテスト

昨年の秋学期また今年の秋学期にI類の授業「文化の探究F-2」において、日本語検定委員会から出されている日本語検定ミニテストを実施し、大正大学の学部生の実態調査を試みた。4級は中学校卒業程度が目安、3級は高校卒業程度レベルと設定されているが、「問題な日本語」を調査するにあたり、検定レベルと誤答に相関関係があるかどうかもみていくため、二つの級で調査することとした。また、ミニテストでは、語彙や言葉の意味、表記などの多岐にわたった設問となっているが、本稿では敬語表現（尊敬語・謙譲語の混同・混用並びに過剰敬語）、可能表現（ら抜き言葉）、使役表現（さ入れ言葉）の誤用を調査するため、問1の敬語と問2の文法のみを分析対象とした。結果として、昨年は1年生22名、2年生52名、3年生37名、4年生2名計113名、今年は1年生45名、2年生10名、3年生17名、4年生4名の計76名の有効回答を得た。なお、学年、性別に関係なく、学部生というくくりで調査・分析を行った。以下が設問並びに集計結果である。

3.1 4級問題

3.1.1 敬語

問1【 】のような場面で、()に入る敬語を使った適切な言い方を一つ選んで、番号で教えてください。

一【美術部の先輩に質問して】

初めて油絵を()たのはいつ頃ですか。

- [1 お描きになっ 2 お描きになられ 3 お描きし]

二【荷物を送ってくれた伯母に、受け取ったことを報告して】

()た荷物、先ほど届きました。ありがとうございます。

- [1 お送りしてくださっ 2 お送りくださっ 3 お送りになっ]

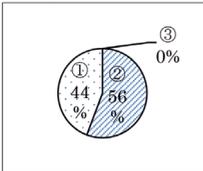
一の場面では、先輩の行為について述べているので、尊敬表現「お～になる」を使用し、「お描きになった」が適切である。2は「お描きになる」に尊敬の助動詞「れる・られる」をつけた過剰敬語であり、3は謙讓表現「お～する」が使われ、いずれも誤用である。

二では、伯母にお礼を言う場面なので、尊敬表現「お～になる」ではなく、相手の行為が自分にとって恩恵があり、感謝を表すべく「お～くださる」を使用し、「お送りくださった」が適切である。1は相手の行為に謙讓表現「お～する」が使われている誤用、3は単に「お～になる」の尊敬表現が使用され、感謝の意を含む文としては十分ではない。

平成 28 年度の結果

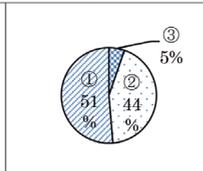
問 1 一

(正答 1)



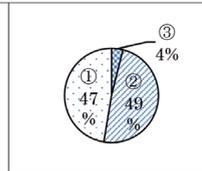
問 1 二

(正答 2)

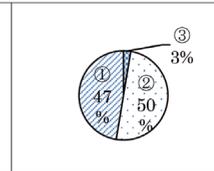


平成 29 年度の結果

問 1 一



問 1 二



※グラフ内の番号は選択肢番号を表す

問1一の正答は選択肢1である。昨年は、正解の選択肢1を選んだ人は44.2% (50人) となり、選択肢2を選んだ人が55.8% (63人)、選択肢3を選んだ人は無しという結果となった。問1二の正答は選択肢2である。正しく答えられた人は43.4% (49人)、選択肢1を選んだ人が51.3% (58人)、選択肢3を選んだ人5.3% (6人) という結果となった。

今年の結果は、問1一で正解の選択肢1を選んだ人は47.4% (36人) となり、選択肢2を選んだ人が48.7% (37人)、選択肢3を選んだ人が3.9% (3人) という結果となった。問1二に正しく答えられた人は50.0% (38人)、選択肢1を選んだ人が47.4% (36人)、選択肢3を選んだ人が2.6% (2人) という結果となった。

問1の一の誤答である選択肢2は、「お～になる」の尊敬表現に、尊敬の助動詞「れる・られる」をつけた過剰敬語である。過剰敬語を選んだ人が55.8%、48.7%と二年連続非常に多い。また、二の誤答である選択肢は、相手の行為に対して尊敬表現ではなく謙讓表現「お～する」が使用されているが、こちらも、43.4%、47.4%と誤答率が高い。

3.1.2 文法

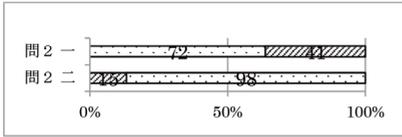
問2 次のようなことを言うとき、() 部分はどちらの言い方が適切でしょうか。適切なほうを選んで、番号で教えてください。

一 傘を持っていたので、ぬれずに (1 帰ってこられ 2 帰ってこれ) ました。

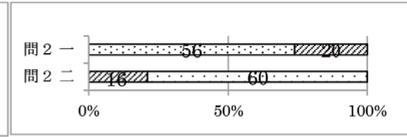
二 そのことについて、僕からも少し意見を (1 言わせ 2 言わせ) てください。

一で、か行変格活用動詞「帰ってくる」の可能の言い方は、可能の助動詞「られる」をつけた「帰ってこられました」が正解であり、2は「ら抜き言葉」である。二の「言う」は五段活用動詞なので、使役の助動詞「せる」をつけた「言わせてください」を選ばなければならない、2はいわゆる「さ入れ言葉」の誤用である。

平成 28 年度の結果



平成 29 年度の結果



※左が選択肢 1、右が選択肢 2 ※ドットは正解、斜線は誤答を表す ※グラフ内の数字は人数を表す

問 2 一の正解は選択肢 1 である。昨年は、正解の選択肢 1 を選んだ人は 63.7% (72 人) となり、選択肢 2 を選んだ人が 36.3% (41 人) という結果となった。問 2 二の正解は選択肢 2 である。正しく答えられた人は 86.7% (98 人)、選択肢 1 を選んだ人が 13.3% (15 人) という結果だった。

今年、問題 2 一の正解の選択肢 1 を選んだ人は 73.7% (56 人)、選択肢 2 を選んだ人は 26.3% (20 人) という結果となった。問 2 二を正しく答えられた人は 78.9% (60 人)、選択肢 1 を選んだ人が 21.1% (16 人) という結果となった。

問 2 一の誤答である選択肢 2 は「ら抜き言葉」であり、二の選択肢 1 はいわゆる「さ入れ言葉」である。「ら抜き言葉」の誤答を選んだ人は、36.3%、26.3%、「さ入れ言葉」の誤答に関しては、13.3%、21.1%と「ら抜き言葉」の誤答よりは少ない結果となった。

3.2 3級問題

3.2.1 敬語

問 1 【 】のような場面で、それぞれの () 部分はどのような言い方をすればよいでしょうか。最も適切なものを選んで、番号で教えてください。

一【就職試験の面接で、志望動機について話す】

廃材のリサイクルに () 御社の事業に魅力を感じております。

[1 お取り組みされている 2 お取り組みになっている 3 お取り組みになられている]

二【上司に企画書を提出する】

課長、私の企画書を () でしょうか。

〔1 ご一読になれません 2 ご一読いただけません 3 ご一読していただけません〕

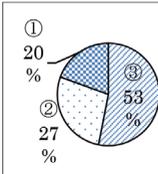
一の場面では、就活先の会社の行為について述べているので、尊敬表現「お～になる」を使用し、「お取り組みになっている」が適切である。1は謙讓表現「お～する」が相手の行為に使われており、3は「お取り組みになる」に尊敬の助動詞「れる・られる」をつけた過剰敬語であり、いずれも誤用である。

二の場面では、上司を相手に、相手の行為が自分にとって恩恵があり、謝意を表すべく「ご～いただく」を使用する必要があるので、「ご一読いただけませんか」が適切である。1は単に「ご～になる」という尊敬表現の可能な形を用いているが、感謝の意が十分に表されていない。3は相手の行為に謙讓表現「ご～する」が使われている誤用である。

平成 28 年度の結果

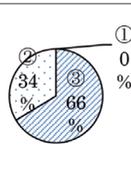
問 1 一

(正答 2)



問 1 二

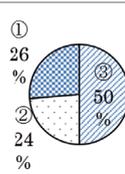
(正答 2)



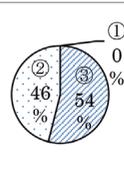
平成 29 年度の結果

問 1 一

(正答 2)



問 1 二



※グラフ内の番号は選択肢番号を表す

問 1 一の正答は選択肢 2 である。昨年は、正解の選択肢 2 を選んだ人は 27.4% (31 人) となり、選択肢 1 を選んだ人が 19.5% (22 人)、選択肢 3 を選んだ人は 53.1% (60 人) という結果となった。問 1 二の正答も選択肢 2 である。正しく答えられた人は 33.6% (38 人)、選択肢 3 を選んだ人が 66.4% (75 人)、選択肢 1 を選んだ人はいなかった。

今年は、正解の選択肢 2 を選んだ人は 23.7% (18 人) となり、選択肢 1 を選んだ人が 26.3% (20 人)、選択肢 3 を選んだ人が 50.0% (38 人) という結果となった。問 1 二の正解者は、46.1% (35 人)、選択肢 3 を選んだ人

が53.9%（41人）という結果となった。

問1の一の誤答である選択肢1は、相手の行為に謙譲表現を使用し、選択肢3は過剰敬語の誤りである。問1の二の誤答選択肢3も、相手の行為に謙譲表現「ご～する」を使用する誤りである。問1一の正答率が二年連続27.4%、23.7%と低く、問1二も33.6%、46.1%と高い正答率ではなかった。

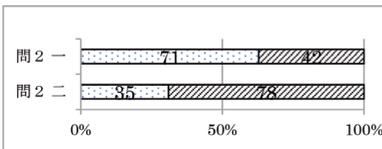
3.2.2 文法

問2 次のようなことを言うとき、（ ）部分はどちらの言い方が適切でしょうか。適切なほうを選んで、番号で教えてください。

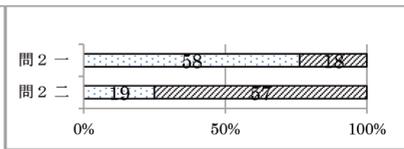
- 一 来週の出張で、先方と契約を（ 1 結んでこられる 2 結んでくれる ）よう努力します。
- 二 この件に関しては、私と営業部の担当で（ 1 話し合わせ 2 話し合わせ ）てください。

一で、カ行変格活用動詞「結んでくる」の可能の言い方は、可能の助動詞「られる」をつけた「結んでこられる」が正解であり、2は「ら抜き言葉」である。二の「話し合う」は五段活用動詞なので、使役の助動詞「せる」をつけた「話し合わせてください」を選ばなければならないが、2の誤用は「さ入れ言葉」である。

平成 28 年度の結果



平成 29 年度の結果



※左が選択肢1、右が選択肢2 ※ドットは正解、斜線は誤答を表す ※グラフ内の数字は人数を表す

問2一の正答選択肢1を選んだ人は、昨年は、62.8%（71人）、選択肢2を選んだ人は37.2%（42人）で約3分の2の人が正しく選んでいる結果となった。一方、問2二を正しく答えられた人は31.0%（35人）、誤答の選

択肢2を選んだ人が69.0%（78人）を大きく下回った。

今年に関しても同様に、問2一は76.3%（58人）と正答率が高く、二はわずか25%（19人）しか正答を出せず、75%（57人）が誤答を選んだ。

一で、択肢2は「ら抜き言葉」であり、二の択肢2は「さ入れ言葉」の誤用である。

3.3 結果のまとめ

4級、3級における誤答回答の結果を表にすると以下のとおりである。

		問1一： 過剰敬語	問1二： 敬語混同使用	問2一： ら抜き言葉	問2二： さ入れ言葉
4級	H28	55.8%	51.3%	36.3%	13.3%
	H29	48.7%	47.4%	26.3%	21.1%
3級	H28	53.1%	66.4%	37.2%	69.0%
	H29	50.0%	53.9%	23.7%	75.0%

4級も3級も、問1では敬語、問2では文法の問題であったが、4級と3級の誤答に差が出た要因は、学部生と提示された文中の動詞との関わり合いによるものではないかと推測できる。4級で取りあげられた動詞は問1の一から順に「描く」「送る」「帰る」「言う」であるのに対し、3級では「取り組む」「一読する」「(契約を)結ぶ」「話し合う」であった。3級で問われた動詞は、学生にとって日常生活の中で実際に使うことの少ない、なじみの浅い動詞であると考えられるため、難しく考えた結果誤答に結びついてしまったと言えるであろう。3級問題の問2二で、「この件に関しては、私と営業部の担当者で話し合わせてください」という文において、昨年は全体の69%、今年は75%もの学生が「さ入れ言葉」を選んだ理由は、殆ど体験したことのないかしまった場面設定であることと同時に、複合動詞であることが原因といえよう。ここから推測されることは、学部生にとって、場面により言葉が選択されており、かしまった場面においては丁寧な言葉遣いをしたほうが良いという考えが働いているのではないかということだ。

4. 「国語に関する世論調査」

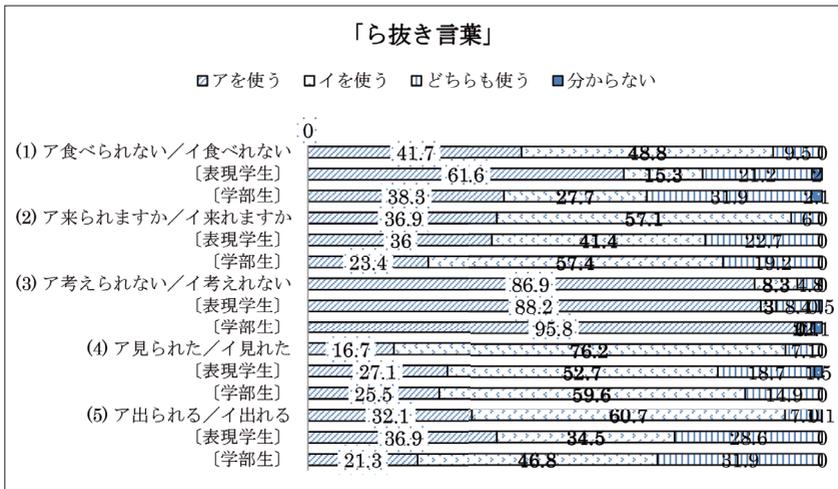
次に、文化庁が行った平成 27 年度「国語に関する世論調査」の中から、『4「ら抜き」、「さ入れ」、「やる／あげる」どちらの言い方を普通使うか < 問 21 > (P.95)』という調査内容をそのまま流用し、大正大学の学部生に対してアンケート調査を行った。一回目は、平成 29 年 7 月 15 日に I 類の必修科目「基礎技法 A-1」の授業内において表現学部一年生（以下、「表現学生」とする）205 名を対象に（授業の都合上、6 教室に別れて実施）10 分程度で実施した。二回目は、平成 29 年 11 月 15 日に I 類の選択科目「文化の探究」の授業内において、77 名の履修者を対象に行った。いずれも、短時間でデータを収集できるように計り、アンケート調査用紙に記入してもらう方法で調査を行ったため、聞き取りで行った文化庁の大きな調査とは方法が異なる。全体の結果は資料 1 のとおりである。

また、文化庁の調査結果のうち、16 歳から 19 歳（以下「全国 10 代」とする）に特化した回答と比較するため、アンケート被験者のうち、一回目の調査では、20 歳 2 名を除く 17 歳 2 名、18 歳 139 名、19 歳 62 名計 203 名を調査対象とし、二回目の調査では、20 歳以上の 30 名を除く 18 歳 11 名、19 歳 36 名計 47 名分を有効回答とした。

4.1 可能表現（ら抜き言葉）

調査項目 (1) から (5) は、可能動詞の「ら抜き言葉」使用を問うものである。現代日本語の文法規範から言えば、全てアが正しい使い方であるが、「ら抜き言葉」に関しては、その発生が明確であり、「ら抜き言葉」使用を庇護する動きもあり、活用語（可能表現と受身・尊敬の形）が同一である動詞に生じるら抜き現象の合理性から言っても、ますます使用の拡大が見込まれる。調査前に予測できたことだが、10 代の学部生を調べた結果は、誤用の回答が目立つ。ただ、今回の調査結果からもわかるとおり、「来る」「見る」「出る」等の二音節の動詞に関してはら抜きが進んでいるが、「食べる」「考える」のように三音節以上の動詞に関しては、まだまだ無意識にら抜きが行われるに至ってはいないようだ。

また、今回、文化庁が行った調査は聞き取りという方法をとっているが、本稿の調査ではアンケート調査用紙に記入する方法をとっているため、必ずしも話し言葉の調査としては正確なデータが得られたとは言い切れない。それを反映するかのよう特徴的だったのは、表現学生ならびに学部生の回答で、「どちらも使う」と答えている学生が、全国 10 代に比べて非常に多かったことである。これは、選択する際に、アまたはイを使用していると断言するのではなく、自分の使用場面を振り返り、誤用だと知りながらイも使用しているという考えが影響し、「どちらも使う」を選択させたのだと考えられる。

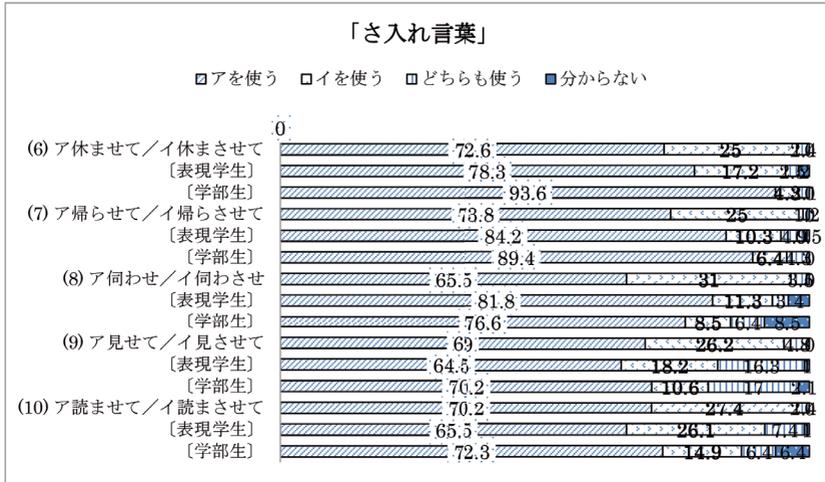


※グラフ内の数値は%を表す

4.2 使役表現（さ入れ言葉）

調査項目 (6) から (10) に関しては「さ入れ言葉」を問うものである。「日本語検定」ミニテストからも、「さ入れ言葉」に関しては、現在のところ、「ら抜き言葉」ほどその誤用の使用が進んでいるという結果は出なかった。今回の調査に採用されている文の中の動詞は「休む」「帰る」「伺う」「見せる」「読む」と、普段の生活の中に頻繁に出てくるものばかりであることも、正答の選択率に影響があったとみられる。今回学部生の調査においては、(9) の見せるに関して、「見せてください」と「見させてください」両方を使うと答

た人が他の間に比べて多かったが、全国の調査では、両方を使うと答えた人は4.8%と低く、平成22年の調査からほとんど変化がないことから、許可をとる場合に「させて」と強調して言葉で表そうとする姿勢は、大正大学の学生の特徴であると言えるかもしれない。

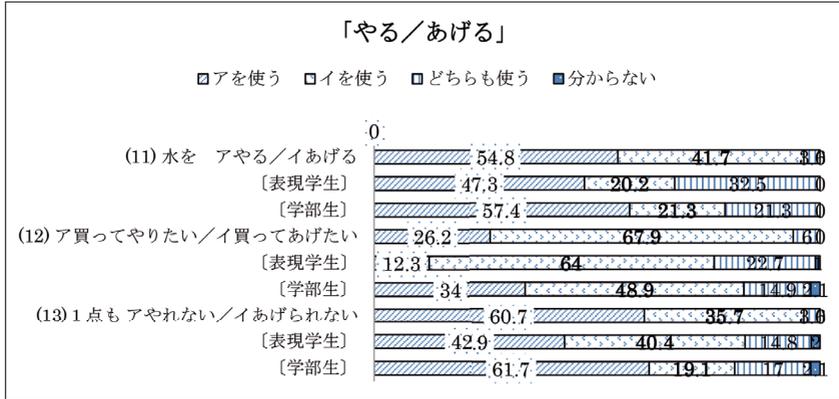


※グラフ内の数値は%を表す

4.3 授受表現（やる／あげる）

調査項目(11)から(13)は「やる／あげる」の授受表現の使用を問うものだが、いずれの間でも、表現学生、学部生ともに、「やる／あげる」の両方を使うと答えた比率が全国平均に比べて高い。今回のアンケート調査の被験者の男女の割合は、表現学生203名の内、男子が55名、女子が148名であり、学部生47名の内訳は、男子19名、女子28名であった。近年「やる」という言葉からマイナスのイメージを受けるため使用を避けるという調査結果も出ており、被験者の女子の割合が高い今回の調査ではその影響があったと考えられる。また、(11)はやる対象が「植木」、(12)は人、(13)はチーム(人)であることが関係し、特に(12)で「あげる」を使用するという回答が多く、「あげるを使う」と「どちらも使う」の回答を合わせると、表現学生調べでは86.7%、学部生でも63.8%の高い回答となった。文化庁調

べでも、平成7年、12年、17年、27年と調査を行うごとに「あげる」の使用が増えているという結果が出ているため、今後は敬語の誤用と合わせて注目していきたい。



※グラフ内の数値は%を表す

5. おわりに

「日本語検定」ミニテストの実施並びに、「国語に関する世論調査」の調査内容を本学の学部生にアンケート調査の形で行った結果、敬語表現（尊敬語・謙讓語の混同・混用並びに過剰敬語）、可能表現（ら抜き言葉）、使役表現（さ入れ言葉）に関する誤用の使用がみえた。しかし、過剰敬語の誤用使用率が高いことや、「ら抜き言葉」に対しての意識が高いこと、改まった場面で「さ入れ言葉」を選択することなどから考えると、敬語に対する意識が高いと言えるだろう。意識は高いが誤用も多くみられること、母語話者であるため感覚に頼っていること、敬語への苦手意識があることなどを考え合わせ、日本語を客観的に習得し直すことを提案する。日本語を世界の言語の一つとして捉えれば、感覚に頼らず規則的に学ぶことができる。

日本語教育における日本語の動詞の扱いは、3つのグループに分けられている。グループ1は国語教育における五段活用である。グループ2は同、上

一段活用と下一段活用、グループ3は同、カ行変格活用とサ行変格活用を指す。「ら抜き言葉」が生じるのは動詞のグループ2の可能の形であるが、「食べられる」「起きられる」というふうに、食べます、起きますのますをとって語幹の「食べ」「起き」に「られる」をつければよい。動詞がどのグループに入るのか迷ったら、否定の「ない」の形を考えればよい。書かない、読まないのようにならないの前が「a」の発音になるものはグループ1、食べない、起きないように、語幹に直接「ない」がつくものはグループ2である。日本語を学ぶ外国人にとっては、この否定の「ない」の形を考えるのは例外が多く至難の業であるが、母語話者にとっては、決して間違えることなく分類できる。この動詞のグループ分けさえわかっていたら、「ら抜き言葉」を発生させることがない。「さ入れ言葉」に関しても同様である。動詞の使役の形を考えれば良いので、グループ1は読ませる、書かせるとなり、否定の「ない」の語幹「読ま」「書か」に「せる」を加えればよいし、グループ2は食べさせる、起きさせるのように語幹に「させる」をつければ「さ入れ言葉」は起こらない。混乱した場合は、このように、世界の言語の一つとしての日本語を考えるのも一つの方法である。今後は、文化庁が行っている面談方式の調査などを取り入れ、学部生のアルバイト先など生活面から使用言語にどのような影響を受けているのか引き続き調査を試みる。

参考文献

- 東照二 (2009) 「社会言語学入門 (改訂版)」 研究社
- 宇佐美まゆみ (2000a) 「21 世紀の社会と日本語—ポライトネスのゆくえを中心に—」 『言語』 30 第 1 号
- 菊地康人 (1997) 『敬語』 講談社学術文庫
- 菊地康人 (2010) 『敬語再入門』 講談社学術文庫
- 北原保雄編 (2004) 『問題な日本語』 大修館書店
- 北原保雄編 (2005) 『続弾！ 問題な日本語』 大修館書店
- 北原保雄編 (2007) 『問題な日本語その 3』 大修館書店
- 北原保雄編 (2011) 『問題な日本語その 4』 大修館書店
- 杉戸清樹・尾崎喜光 「「敬意表現」から「言語行動における配慮」へ」 『言語

- 行動における「配慮」の諸相』国立国語研究所 2006
- 中島紀子 (2015) 「『日本語検定』問題にみる誤用に関する一考察」『表現学』
創刊号 pp.27-38 大正大学表現学部
- 西尾純二 (2015) 『マイナスの待遇表現行動』くろしお出版
- 日本語検定委員会編 (2015) 『日本語検定公式過去問題集 3 級 平成 27 年
度版』東京書籍
- 日本語検定委員会編 (2016) 『日本語検定公式過去問題集 3 級 平成 28 年
度版』東京書籍
- 日本語検定委員会編 (2017) 『日本語検定公式過去問題集 3 級 平成 29 年
度版』東京書籍
- 文化庁文化庁国語科 (2016) 『平成 27 年度国語に関する世論調査 コミュ
ニケーションの在り方・言葉遣い』ぎょうせい
- 福田一雄 (2013) 『対人関係の言語学—ポライトネスからの眺め—』開拓社

参考 URL

- 平成 27 年度「国語に関する世論調査」の結果の概要
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/h25/pdf/h25_chosa_kekka.pdf (文化庁) 平成 29 年 6 月 30 日閲覧

資料 1

4「ら抜き」, 「さ入れ」, 「やる／あげる」 どちらの言い方を普通使うか <問 21> (P. 95) —

数字は% () 内は人数

		(ア) を使う	(イ) を使う	どちらも使う	分らない
(1)	(ア) こんなにたくさんは食べられない	60.8/ 41.7 61.6(125)	32.0/ 48.8 15.3(31)	6.8/ 9.5 21.2(43)	0.4/ 0.0 2.0(4)
	(イ) こんなにたくさんは食べれない	38.3(18)	27.7(13)	31.9(15)	2.1(1)
(2)	(ア) 朝5時に来られますか	45.4/ 36.9 36.0(73)	44.1/ 57.1 41.4(84)	9.8/ 6.0 22.7(46)	0.7/ 0.0 0.0(0)
	(イ) 朝5時に来れますか	23.4(11)	57.4(27)	19.2(9)	0.0(0)
(3)	(ア) 彼が来るなんて考えられない	88.6/ 86.9 88.2(179)	7.8/ 8.3 3.0(6)	2.9/ 4.8 8.4(17)	0.8/ 0.0 0.5(1)
	(イ) 彼が来るなんて考えれない	95.8(45)	0.0(0)	2.1(1)	2.1(1)
(4)	(ア) 今年は初日の出が見られた	44.6/ 16.7 27.1(55)	48.4/ 76.2 52.7(107)	6.5/ 7.1 18.7(38)	0.4/ 0.0 1.5(3)
	(イ) 今年は初日の出が見れた	25.5(12)	59.6(28)	14.9(7)	0(0)
(5)	(ア) 早く出られる?	44.3/ 32.1 36.9(75)	45.1/ 60.7 34.5(70)	10.2/ 7.1 28.6(58)	0.5/ 0.1 0.0(0)
	(イ) 早く出れる?	21.3(10)	46.8(22)	31.9(15)	0.0(0)
(6)	(ア) 明日は休ませていただきます	79.6/ 72.6 78.3(159)	16.8/ 25.0 17.2(35)	3.1/ 1.2 2.5(5)	0.5/ 1.2 2.0(4)
	(イ) 明日は休まさせていただきます	93.6(44)	4.3(2)	2.1(1)	0.0(0)
(7)	(ア) 今日はこれで帰らせてください	80.3/ 73.8 84.2(171)	16.9/ 25.0 10.3(21)	2.1/ 0.0 4.9(10)	0.7/ 1.2 0.5(1)
	(イ) 今日はこれで帰らせてください	89.4(42)	6.4(3)	4.3(2)	0.0(0)
(8)	(ア) 担当の者を伺わせます	75.5/ 65.5 81.8(166)	20.7/ 31.0 11.3(23)	2.9/ 2.4 3.0(6)	0.8/ 1.2 4.0(8)
	(イ) 担当の者を伺わさせます	76.6(36)	8.5(4)	6.4(3)	8.5(4)
(9)	(ア) 絵を見せてください	59.6/ 69.0 64.5(131)	32.7/ 26.2 18.2(37)	7.5/ 4.8 16.3(33)	0.2/ 0.0 1.0(2)
	(イ) 絵を見させてください	70.2(33)	10.6(5)	17.0(8)	2.1(1)
(10)	(ア) 私が読ませていただきます	71.9/ 70.2 65.5(133)	23.2/ 27.4 26.1(53)	4.3/ 2.4 7.4(15)	0.6/ 0.0 1.0(2)
	(イ) 私が読まさせていただきます	72.3(34)	14.9(7)	6.4(3)	6.4(3)
(11)	(ア) 植木に水をやる	59.8/ 54.8 47.3(96)	33.6/ 41.7 20.2(41)	6.4/ 3.6 32.5(66)	0.1/ 0.0 0.0(0)
	(イ) 植木に水をあげる	57.4(27)	21.3(10)	21.3(10)	0.0(0)
(12)	(ア) うちの子におもちゃを買ってやりたい	35.6/ 26.2 12.3(25)	57.0/ 67.9 64.0(130)	7.1/ 6.0 22.7(46)	0.3/ 0.0 1.0(2)
	(イ) うちの子におもちゃを買ってあげたい	34.0(16)	48.9(23)	14.9(7)	2.1(1)
(13)	(ア) 相手チームにはもう1点もやれない	74.4/ 60.7 42.9(87)	21.0/ 35.7 40.4(82)	4.1/ 3.6 14.8(30)	0.5/ 0.0 2.0(4)
	(イ) 相手チームにはもう1点もあげられない	61.7(29)	19.1(9)	17.0(8)	2.1(1)

[上段] 文化庁調査: [左] 全国 16 歳以上の男女 (1,959 人) / [右] 全国 16~19 歳の男女 (84 人)

[中段] 大正大学授業内調査: 表現学部学生 17~19 歳の男女 (203 人)

[下段] 大正大学授業内調査: 学部生 18~19 歳の男女 (47 人)